

東京		22	
東海北陸		37	
近畿	3	40	
四国中国	11	32	
九州	20	24	1
沖縄	3	1	
総計	46	270	2

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア) はい	(イ) いいえ
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	23 (9%)	245 (91%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	23 (48%)	25 (52%)
総計	46	270

(イ) 実施していない理由

【九州・沖縄以外】

- 準備段階・実施準備中（14件）
- 都道府県の方針（17件）
- 事業化していない（4件）
- 予算化されていない。予算算定困難。（9件）
- 体制が整っていない（相談、検査、フォロー等）（58件）
- ニーズがない。相談者がいない。優先順位が低い。（6件）
- 判定保留時の対応に有益な情報提供ができない。
- 特定感染症検査等事業の中に、項目としては含まれているが、検査実施の意義や検査時相談検査後のフォロー体制等について、部署内での十分な話し合いが出来ていないため

【九州・沖縄】

- 都道府県の方針（10件）
- 妊婦健診（産科等医療機関）で実施する事になっている。（3件）
- 準備段階・実施準備中（1件）
- 採血のみ実施、検査は件数が少ないため外部委託。

7. HTLV-1 関連の講演や研修等がありましたか。

地域	(ア) 開催されていない	(イ) 開催された	(ウ) 開催予定がある	無回答
北海道	4	13		
東北	26	3	1	
関東甲信越	16	49	11	1

東京	11	9	1	1
東海北陸	12	25		
近畿	34	9		
四国中国	10	33		
九州	17	28		
沖縄	1	3		
総計	131	172	13	2

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア)	(イ)	(ウ)
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	113 (42%)	141 (53%)	13 (5%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	18 (37%)	31 (63%)	0 (0%)

※7で(イ)と回答された方は下記お答えください。

① 開催された内容は何ですか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 授乳方法(母乳・人工乳・短期母乳等)に関する情報	110	26	136
(イ) 検査方法や判定保留時の対応に関する情報	88	23	111
(ウ) HTLV-1 関連疾患に関する情報	116	27	143
(エ) 専門医や専門となる医療機関情報	37	17	54
(オ) HTLV-1 キャリアのコミュニティやカウンセリングに関する情報	38	14	52
(カ) その他	10	2	12
回答数合計	399	109	

(カ) その他の内容(九州・沖縄以外からのみ回答)

- HTLV-1 キャリア産婦への指導について
- 厚労省の説明の伝達研修(TV会議)
- 母子感染について
- HTLV-1 対策について、HAMについて
- 母子感染予防について
- 行政担当者向け
- 検査相談支援体制、妊婦における実施について

● HTLV-1 総合対策の経緯と内容

② 開催された際の参加人数についてお答えください。※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 10人以下	7	1	8
(イ) 11人～20人	8	1	9
(ウ) 21～50人	46	6	52
(エ) 51人～100人	48	10	58
(オ) 101人以上	21	11	32

③ 開催母体はどこですか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 所属部署(課)	12	2	14
(イ) 所属機関(保健所)	8	1	9
(ウ) 母子感染対策協議会	1	1	2
(エ) 都道府県	112	27	139
(オ) 医師会	7	2	9
(カ) その他	8	1	9

(カ) その他の内容(九州・沖縄以外からのみ回答)

- 外郭団体(県の委託)
- 部長
- 国立保健医療科学院
- 県内他保健所
- 母子保健担当課(福祉健康センター)
- 市
- 産婦人科学会、産婦人科医会

8. HTLV-1 キャリアが相談に訪問された時、あなたの部署内で対応できますか。(HTLV-1の基礎知識の情報提供、医療機関の紹介、専門医の紹介等)

地域	(ア) 対応できない	(イ) 対応できる	無回答
北海道		17	
東北	6	24	
関東甲信越	9	66	2
東京	4	17	1
東海北陸	6	30	1
近畿	11	32	
四国中国	1	42	

九州		45	
沖縄		4	
総計	37	277	4

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア) 対応できない	(イ) 対応できる
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	37 (14%)	228 (86%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	0 (0%)	49 (100%)

(イ) 対応できる場合の対応内容 ※複数回答可

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
a 妊婦授乳指導	121	22	143
b 一般キャリア相談	180	43	223
c 抗体検査	35	25	60
d 医療機関紹介	126	36	162
e その他	11	0	11
回答数合計	473	126	

9. HTLV-1 関連の専門家（医療機関）との連携が取れていますか。取れている場合はその専門家（医療機関名）をご回答下さい。

(ア) はい（連携医療機関名：)

(イ) いいえ

地域	(ア) はい	(イ) いいえ	無回答
北海道		17	
東北	2	28	
関東甲信越	5	70	2
東京		21	1
東海北陸	3	34	
近畿	2	41	
四国中国	5	38	
九州	10	35	
沖縄		4	
総計	27	288	3

《エリア別回答数及びその割合》

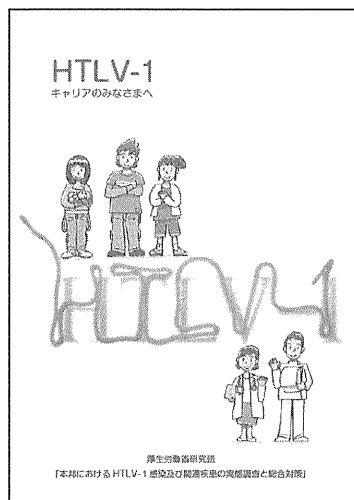
エリア別	(ア) はい	(イ) いいえ
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	17 (6%)	249 (94%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	10 (20%)	39 (80%)

10. あなたの部署への情報提供の方法についてはどのような方法が適している、もしくは使用し易いと思いますか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) インターネット上での情報提供	176	37	213
(イ) 相談対応の医療従事者専用のメールマガジンやウェブサイト	102	21	123
(ウ) パンフレットや教材等の紙媒体	209	37	246
(エ) 定期的な研修会等の開催	126	20	146
(オ) 相談者が相談できる窓口の設置(電話やメール、FAX等)	149	23	172

II. HTLV-1 関連パンフレットの使用状況及び内容に関する調査

a HTLV-1 キャリアのみなさまへ



1. パンフレットは部署内にパンフレットは残っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	36	7	43
(イ) 全て配布した	15	3	18
(ウ) 配布しているが残っている	105	30	135
(エ) 全て使用していない。もしくは使用できない状況	108	9	117
無回答	5	0	5

※1 で (エ) と回答した方はその理由をご回答ください。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 相談員の参考資料で全て使用している	35	4	39
(イ) 運用が決まっていない	25	2	27
(ウ) その他	45	2	47

(ウ) その他理由 (九州・沖縄以外からのみ回答)

- 相談者がいない (33 件)
- 指導用として相談時に使用予定、今後の相談事業で使用予定 (5 件)
- 配布部数不足 (5 件)
- 電話相談で終了している

※1で(イ)、(ウ)と回答した方は下記ご回答ください。

① どのように配布しましたか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 母子手帳配布時に合わせて配布	0	0	0
(イ) 母子手帳配布時に要望があった方に配布	1	0	1
(ウ) 所内の自由に取れるような場所に設置	49	21	70
(エ) 相談時のみ相談員より説明しながら配布	36	6	42
(オ) その他	29	6	35

(オ) その他の内容(九州・沖縄以外からのみ回答)

- 相談担当者もしくは相談対応部署、管内保健所、医療機関等に配布(28件)
- イベントで配布

b HTLV-1 キャリアのみなさまへ よくわかる詳しくわかるHTLV-1



2. パンフレットは部署内にパンフレットは残っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	30	8	38
(イ) 全て配布した	17	2	19
(ウ) 配布しているが残っている	107	29	136
(エ) 全て使用していない。もしくは使用できない状況。	108	10	118
無回答	7	0	7

※2で(エ)と回答した方はその理由をご回答ください。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 相談員の参考資料で全て使用している	37	4	41
(イ) 運用が決まっていない	23	2	25
(ウ) その他	47	3	50

(ウ) その他理由（九州・沖縄以外からのみ回答）

- 相談者がいない（29件）
- 配布部数不足（7件）
- 今後の相談の際に使用予定（6件）
- 電話相談で終了している
- 市町村へ配布

※2で（イ）、（ウ）と回答した方は下記ご回答ください。

① どのように配布しましたか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 母子手帳配布時に合わせて配布	0	0	0
(イ) 母子手帳配布時に要望があった方に配布	1	0	1
(ウ) 所内の自由に取れるような場所に設置	52	22	74
(エ) 相談時のみ相談員より説明しながら配布	34	5	39
(オ) その他	33	4	37

3. a、bのパンフレットの内容についてご回答ください。（複数回答可）

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 分かりやすい	185	37	222
(イ) 専門用語が残っており、配布時には説明が必要	24	4	28
(ウ) より簡易なものが良い	26	2	28
(エ) より詳細な情報がほしい	10	4	14
(オ) 部分的（授乳方法のみ等）な情報のみをまとめた内容がほしい	20	3	23
(カ) その他	15	2	17

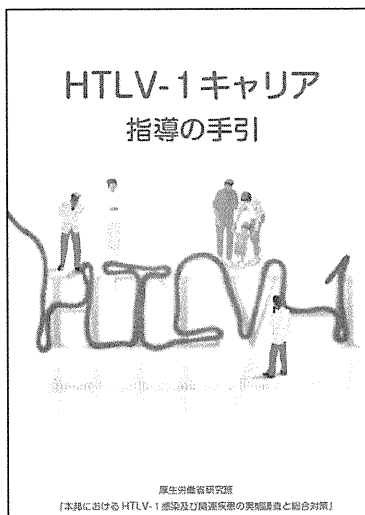
(オ)、(カ) の内容（九州・沖縄以外からのみ回答）

- 授乳方法についての内容（4件）
- キャリア妊婦についての内容
- 感染予防についての内容
- 母乳、短期母乳具体的内容
- キャリアに限らず検査を受ける方への内容があると良い
- 色々なパターンのものがあった方がよい
- 簡易版もあるとよい
- 使用していない為不明（4件）
- 実際には保健所で相談・検査が受けられる体制が整っていないのに、保健所と明記されているので対応に苦慮することがある
- 保健センターで抗体の検査を受けることが可能と記載されているが、検査は不可能である。削除願いたい。
- ネット上から部分的
- 重複する部分もあるので、一冊にできないものか
- HU で失明する可能性は低い（長期的に良好と書いてありますが）、HAM は生命予後は良好、遺伝しない、唾液からは感染しない等明記した方がよいのでは。

4. a、b のパンフレットの追加配布について希望されますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	79	13	92
(イ) いいえ	153	32	185
配布希望部数	6,465	665	

HTLV-1 キャリア指導の手引パンフレットについて



1. パンフレットは持っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	35	5	40
(イ) 相談員全てに配布された	97	29	126
(ウ) 厚生労働省のウェブサイトよりダウンロードした	23	4	27
(エ) その他	107	11	118
無回答	7	0	7

※1、で（イ）、（ウ）と回答した方は下記ご回答下さい。

① パンフレットの内容は分かりやすいですか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 分かりやすい	113	33	146
(イ) 専門用語が残っており、配布時には説明が必要	14	1	15
(ウ) より簡易なものが良い	15	7	22
(エ) より詳細（専門的）な情報がほしい	4	1	5
(オ) 部分的（授乳方法のみ等）な情報のみをまとめた内容がほしい	2	0	2

(エ)、(オ) の内容

【九州・沖縄以外】

- キャリア妊婦についての内容
- 授乳について相談された際、この手引きでは対応できない
- P30～31 の相談対応施設の TEL、メールアドレスを載せてほしい

【九州・沖縄】

- 陽性率の高い地域なので、より詳細な情報が知りたい

2. パンフレットの配布もしくは、追加配布について希望されますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	103	21	124
(イ) いいえ	144	26	170
配布希望部数	1,862	297	

HTLV-1 母子感染対策協議会の設置及び活動状況に関する調査

本研究班では、各都道府県の HTLV-1 母子感染対策協議会の設置状況と活動の実態を調査することにより協議会の問題点の有無、その内容を明らかにするとともに、HTLV-1 ウイルス感染症の専門家との連携の可能性を検討することを目的に全国の都道府県を対象に実施しましたので、その結果をご報告致します。

調査票発送日：2011 年 12 月 13 日

調査票回収期限：2011 年 12 月 26 日

集計対象：2012 年 1 月 6 日までに調査担当事務局に到着した調査票

《調査内容及び集計結果》

回収率：81% (38 通)

九州・沖縄以外 回収率：79% (31 通)

九州・沖縄 回収率：89% (7 通)

下記該当する項目に○もしくは、記載項目への記載をお願いします。

1. 昨年度末の厚生労働省から発表された HTLV-1 総合対策において、母子感染予防対策の検討のために、各都道府県に HTLV-1 母子感染対策協議会（以下、協議会という）を設置するとされていますが、その内容について把握していますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	30 (エリア別：98%)	7 (エリア別：100%)	37 (97%)
(イ) いいえ	1	0	1 (3%)

2. 協議会は設置されていますか。(ウ) と回答された方はその理由をご回答下さい。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	9 (エリア別：29%)	6 (エリア別：86%)	15 (39%)
(イ) 年度内には 設置予定	4	0	4 (11%)
(ウ) いいえ	18	1	19 (50%)

(ウ) いいえ (理由) 複数回答可※上位 3 項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄
a リーダーとなる人がいない。	0	0
b メンバーがいない。誰を入れたら 良いか分からない。	1	0
c 医師会や医療機関、市町村等との 連携が取れない。	0	0

d 資金がない	1	0
e 具体的にどのような活動をすべきか分からない	5	0
f 優先度が低い	7	0
g その他	14	1 (次年度設置予定)

g.その他（理由）（九州・沖縄以外のみ）

- 県健康づくり審議会母子保健分科会を当該協議会とする予定だが開催日未定
- 県内の今年度の妊婦健診実施状況を踏まえ、来年度設置する予定
- 妊婦健診での陽性者の実態を把握していないため、本県においてどのような課題があるか分からない
- 必要に応じて設置できる体制
- 他の母子保健会議と併設することを検討中。今年度の会議の中でHTLV-1 母子感染対策について議論した
- 平成 24 年度実施に向けて準備中
- このテーマだけで設置する予定はない。周産期関連の会議の中で協議予定。
- 県内でHTLV-1 患者が確認されていないため
- 既存の会議で対応予定
- 検討中（2 件）
- 既存の会議の中で検討予定（メンバーがほぼ一緒の為）
- 今年度中に連絡会を開催予定
- 平成 24 年度設置予定（準備会開催済）

※1.で（ア）、（イ）と回答した方は協議会に関して下記にご回答下さい。

① 協議会の構成メンバーは何名ですか。 ※最多項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 5 人以下	0	0	0
(イ) 6～10 人	4	1	4
(ウ) 11～15 人	7	4	11
(エ) 16 人以上	2	1	3

② 協議会の会長名および所属をご回答下さい。（会長名は集計用紙を参照下さい。）

- 社団法人栃木医師会
- 富山赤十字病院 産婦人科
- 愛知県産婦人科医会長
- 滋賀医科大学地域周産期医療学講座
- 山口県産婦人科医会

- 徳島大学病院産婦人科教授
- 高知大学医学部
- 福岡県医師会
- 長崎大学医学部産婦人科教授
- 大分県産婦人科医会
- 宮崎県医師会常任理事、宮崎県産婦人科医会会長
- 鹿児島県保健福祉部長
- 沖縄県福祉保健部長

③ 協議会の構成メンバーの所属もしくは職種について入っている方に○を付けて下さい。(複数回答可)

※(エリア別) 全ての協議会で入っているメンバー

※(エリア別) 半分以上の協議会で入っているメンバー

選択肢	九州・沖縄以外		九州・沖縄	
	人数	割合	人数	割合
(ア) 産婦人科医	12	92%	6	100%
(イ) 小児科医	11	85%	6	100%
(ウ) 血液内科医	7	54%	4	67%
(エ) 神経内科医	2	15%	2	33%
(オ) HTLV-1の専門家	3	23%	3	50%
(カ) その他の領域を専門とする医師	3	23%	3	50%
(キ) 看護師	3	23%	1	17%
(ク) 助産師	11	85%	4	67%
(ケ) 保健師	12	92%	3	50%
(コ) 医療関連団体所属者 (医師会、産婦人科学会、看護協会、助産師会等)	13	100%	6	100%
(サ) 行政機関所属者	13	100%	6	100%
(シ) HTLV-1キャリア・HAMもしくはATL患者・患者家族	1	8%	1	17%
(ス) その他	1※	8%		0%

※回答：難病相談支援センター相談員

④ 協議会の開催頻度についてご回答下さい。

選択肢	九州・沖縄 以外	九州・沖縄	回答数
(ア) これまでに 1 回開催したが、その後の開催予定は未定	3	0	3
(イ) 1年に1回	5	2	7
(ウ) 半年に1回	0	2	2
(エ) 2～3か月に1回	0	0	0
(オ) 1か月に1回	0	0	0
(カ) 委員からの開催請求があった際に開催日程を調整する		1	1
(キ) その他	5	1	6

(キ) その他（内容）

【九州・沖縄以外】

- 協議会開催は平成 24 年 1 月以降予定
- 1 年に 1～2 回を予定
- 今年度は 2 回。次年度以降年 1 回の予定。
- 必要に応じ会長が招集する
- 1 年に 2 回程度

【九州・沖縄】

- 年 3 回程度

⑤ 協議会で現在活動している内容について下記ご回答下さい。※（エリア別）半数以上の協議会で活動している項目

選択肢	九州・沖縄以外		九州・沖縄		回答数
	回答数	エリア別割合	回答数	エリア別割合	
(ア) 協議会内での意見交換	9	69%	5	83%	14
(イ) 相談状況や患者数等の実態把握	7	54%	5	83%	12
(ウ) 抗体検査対応方法に関する検討	4	31%	3	50%	7

(工) 各機関への連携依頼	5	38%	3	50%	8
(才) 相談対応者（保健所職員等）への研修会の開催	7	54%	5	83%	12
(力) 保健指導内容の検討	3	23%	1	17%	4
(キ) 連携各機関との対応内容の検討	5	38%	4	67%	9
(ク) 一般市民への啓発活動（パンフレットやチラシの作成及び配布など）	5	38%	3	50%	8
(ケ) その他	2	15%	1	17%	3

(ケ) その他内容

【九州・沖縄以外】

- 活動していない
- 陽性妊婦への支援体制の検討、手順書（様式集）の作成予定

【九州・沖縄】

- 指導者用テキストの改訂

⑥ 協議会の運営上の課題となっているのは何ですか。（複数回答可）

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 活動資金がない	0	0	0
(イ) 活動内容が分からない	0	0	0
(ウ) 意見がまとまりにくい	0	0	0
(エ) HTLV-1 の有識者がいない	0	0	0
(オ) 連携体制の構築が困難	1	0	1
(カ) 研修等開催の際の指導者がいない	1	0	1
(キ) 活動人材が不足している	0	0	0
(ク) その他	3	2	5

(ク) その他（内容）

【九州・沖縄以外】

- HTLV-1 の罹患者が少ない地域であるため

- 現状（患者数等）不明な部分が多く対策が取りにくい
- 指導体制や指導内容が確立されていない

【九州・沖縄】

- 特になし
- HTLV-1 に感染した妊婦から出生した児の3歳以降の抗体検査の勧奨方法と感染状況の把握について

⑦ その他協議会の運営上の要望がありましたら、下記ご記載下さい。（九州・沖縄以外からのみ回答）

- 国の対策推進協議会と都道府県の母子感染対策協議会が混同されやすいため、明確に役割を国で示すべきと考える

3. 協議会の役割として「都道府県内の抗体検査、保健指導・カウンセリング体制の検討」「市町村の検査の実施状況のまとめ、保健指導・カウンセリングの支援」「HTLV-1 母子感染対策の普及；啓発」等が挙げられています。都道府県内の状況について下記ご回答下さい。

3-1. 4月以降で都道府県内の保健所におけるHTLV-1 関連の相談状況に関して把握していますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	28 (90%)	7 (100%)	34 (94%)
(イ) いいえ	3 (10%)	0 (0%)	2 (6%)
対応数	43	78	

※（ア）と回答した県のうち、対応が0件もしくは記載がない地域は九州・沖縄以外8県、九州・沖縄1県

3-2. 妊婦のHTLV-1 抗体検査の実施状況を把握していますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	17 (55%)	4 (57%)	21 (55%)
(イ) いいえ	11 (35%)	3 (43%)	14 (37%)
無回答	3 (10%)	0 (0%)	3 (8%)

3-3. 相談担当者への都道府県主催の研修・講習を実施していますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	25 (81%)	7 (100%)	32 (84%)
(イ) 全国研修会に参加させている	0	0	0
(ウ) 各保健所で研修・講習を実施させている	0	0	0

(エ) 実施していない	6 (9%)	0	6 (16%)
-------------	--------	---	---------

3-4. HTLV-1 感染対策の普及・啓発事業を実施していますか。

選択肢		九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい		23 (74%)	7 (100%)	30 (79%)
(ア) の内容	ポスター	7	2	
	リーフレット	17	6	
	講演会	2	0	
	その他※	6	0	
(イ) 実施していない		8 (26%)	0	8 (21%)

※その他内容

- 母子感染対策研修会
- 行政向け及び医療従事者向けの研修
- HP への掲載 (3 件)
- 母子手帳と一緒に配布するガイドブックに啓発記事掲載

4. HTLV-1 ウイルスへの感染が判明した方への対応について都道府県内保健所で統一した対応方法がとられていますか。とられている場合はその方法をご回答下さい。

※最多項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	12 (39%)	7 (100%)	19 (50%)
(イ) いいえ	18 (58%)	0	18 (47%)
無回答	1 (3%)	0	1 (3%)

(ア) はいの方法 (複数回答可)

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
a 専門の医療機関を紹介する	4 (33%)	5 (71%)	9
b 各担当部署で相談対応を実施する	10 (83%)	6 (86%)	16
c その他	0 (0%)	1 (14%) ※	1

※回答：妊婦については必要に応じて産科主治医から専門機関へ紹介する等対応する。

5. HTLV-1 の相談などで詳細な説明が必要な場合等の対策として、医療機関との連携体制について検討されていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 連携体制が確立している	3 (10%)	2 (29%)	5 (13%)
(イ) 検討中である	9 (29%)	4 (57%)	13 (34%)
(ウ) 検討していない	10 (32%)	1 (14%)	11 (29%)
(エ) その他	9 (29%)	0 (0%)	9 (24%)

(エ) その他（内容）（九州・沖縄以外からのみ回答）

- 協議会の中で検討していきたい
- 今後必要に応じて検討。平成 22 年度に研究班の先生にご相談させて頂いた。
- 年度内開催予定の協議会で検討
- 連携体制として明文化はしていないが、中核となる医療機関は限定されます。
- 保健所での HTLV-1 検査で陽性の方を県内医療機関へ紹介し、確認検査を検討するよう数か所の医療機関（任意）へ依頼した
- 今年度開催する連絡会で検討予定今後協議会の中で検討予定

6. HTLV-1 の対応に関して、より専門的な対応が必要な場合に対応可能となる拠点病院などの整備を必要としますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 望ましい	18 (58%)	5 (71%)	22
(イ) 必要ない	4 (13%)	0 (0%)	4
(ウ) その他	9 (29%)	2 (29%)	11

(ウ) その他（内容）

【九州・沖縄以外】

- がん診療連携拠点病院で対応可能となるように整備して頂きたい
- 協議会で議論する
- 検討中
- 現在 HTLV-1 陽性者の実態把握や医療機関との相談を行っていないため、今後実態を把握してから判断する。
- 実情に応じて対応することになさうかと思うが、実態把握が困難であり、国の動向等も注視していきたい。
- 妊婦一般健康診査における抗体検査で陽性と判明した妊婦に関しては、県において専門医療機関を整備している。
- HTLV-1 に特化した拠点病院の役割とニーズが明確になれば整備の必要性が検討できると考えます。
- 今後要検討

【九州・沖縄】

- 今後協議会の中で検討
- 本県はキャリアの方の相談や検査等の対応をするキャリア外来（内科）を 6 つの医療機関で対応している。

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
内丸 薫	【第73回日本血液学会 学術集会教育講演】 HTLV-1キャリア対応・ ATL診療の問題点	臨床血液	52(10)別冊	1432-1438	2011
内丸 薫	【特集 高齢者の血液 疾患の進歩と実際】高 齢者の成人T細胞白血 病・リンパ腫のマネジ メント	血液内科	62(6)	713-720	2011
山野嘉久、佐藤 知雄、新谷奈津 美、安藤仁、八 木下尚子	HAM専門外来の取り組 み	神経内科	75(4)	387-392	2011
山野嘉久	HTLV-1キャリアー、 HTLV-1-associated myelopathy (HAM) 患者 診療の現状と問題点	血液内科	63(1)	81-86	2011
渡邊俊樹	「HTLV-1特命チームと HTLV-1/ATL研究」	臨床血液 教育講演特集号	52(10)	27-35	2011
宇都宮與、石田 高司、鶴池直邦 、瀬戸加大	Round Table Discussion 成人T細胞 白血病研究の進歩と今 後の展望.	Trends in Hematological Malignancies	Vol13 No.2	64-71	2011
島内隆寿、戸倉 新樹	成人T細胞性白血病/ リンパ腫の皮疹型と予 後判定への重要性	日皮会誌	121	3091-3093	2011
戸倉新樹	皮疹型は成人T細胞性 白血病/リンパ腫の独 立した予後因子である	血液内科	63	702-707	2011
齋藤 滋	HTLV-I感染症	周産期医学	41	1099-1103	2011
齋藤 滋	HTLV-I母子感染対策の ために助産師が知って おきたい知識	ペリネイタルケア	31	65-71	2012
森内昌子、森内 浩幸	HIV感染とHTLV感染～2 つのレトロウイルス母 子感染の比較	HIV感染とHTLV感 染～2つのレトロ ウイルス母子感染 の比較	Vol. 38, No. 6	667-673	